

令和3年度 千葉市認知症介護実践研修（実践リーダー研修）カリキュラム

日程	開始	終了	分	単元名	単元のねらい	講師等	研修リーダー (進行)
1 5月17日 (月)	9:00	9:10	10	開講式		研修実施機関	
	9:10	9:40	30	◆講義 認知症介護実践リーダー研修の理解	研修カリキュラムが「研修の目標」と「目指すべき人物像」に到達することを目指し組み立てられていること、さらにカリキュラムを構成している各単元の位置づけを理解し、研修の概要を把握するとともに、実践リーダーとしての自己の課題を確認し、研修における学習目標を明確にする	【千葉市認知症介護指導者】 株式会社マウントバード サービス付き高齢者向け住宅なごみの郷 グループホームきくまの家 ホーム長 滝澤 秀児	滝澤
	9:45	11:45	120	◆講義・演習 関連図作成 課題の根本原因の把握とアプローチ	① 「職員はなぜ辞めるのか？」をテーマに関連図作成を体験し、課題の解決には課題の根本原因（解決したい問題を発生させている事象や事柄のこと）を把握し、根本原因に対し、有効な解決へのアプローチをする必要があることを知る ② 本単元を通じ、実践リーダーとして現状に患病や不満で留まるのではなく、人材の育成、チームのマネジメント等を行うための提案や改善策を「考え抜くこと」が大切であることを確認するとともに、本研修が「考え抜く研修」であることを理解する	【千葉市認知症介護指導者】 寺崎 一永 【ファシリテーター：千葉市認知症介護指導者】 サービス付き高齢者向け住宅なごみの郷 グループホームきくまの家 ホーム長 滝澤 秀児	滝澤
	11:45	12:35	50	【昼食・休憩】			
	12:35	13:25	50	◆講義 「看取り介護」から確認する 支援専門職に必要な基本知識、技術、態度	看取り介護をテーマに、看取り介護は特別なことではなく、支援専門職の基本知識、技術、態度が求められることを確認する。 また、改めて確認した支援専門職として必要な基本知識、技術、態度が土台となって、更なる専門的知識・技術・介護観の獲得が必要であることを理解する	【千葉市認知症介護指導者】 医療法人社団澄乃会 統括マネージャー 向日葵ケアプラン 管理者 日向 雅史	滝澤
	13:30	17:00	210	◆講義・演習 「看取り介護」から考える 倫理の指導と仕組みづくり	① 看取り介護をテーマに、認知症の状態にある方への支援に留まらず、高齢者支援全般における倫理の考え方や指導方法について学習する ② 高齢者支援において重要な「職業倫理」を確認するとともに、実践者は、日常の支援に潜む「倫理的ジレンマ(相反する複数の倫理的根拠が存在し、いずれも重要と考えられる場合、専門職として葛藤し、方針の決定が困難となること)」に陥りやすいことを確認し、実践リーダーとして実践者の倫理的ジレンマに“気づき”⇒“解決”することが重要であることを理解する ③ 看取り介護をテーマに、「多職種連携」「職員教育(OJT・Off-JT)」「環境(人員配置、物品・備品、場所等)の準備」「手続き」「ご家族への説明(納得・理解)」「感情と報酬・加算算定のバランス」などといった『仕組みづくり』を具体的に考えることで、『仕組みづくり』を行うことが実践リーダーの重要な役割であることを理解する	【千葉市認知症介護指導者】 医療法人社団澄乃会 統括マネージャー 向日葵ケアプラン 管理者 日向 雅史 【ファシリテーター：千葉市認知症介護指導者】 ・サービス付き高齢者向け住宅なごみの郷 グループホームきくまの家 ホーム長 滝澤 秀児 ・寺崎 一永	滝澤

日程	開始	終了	分	単元名	単元のねらい	講師等	研修リーダー (進行)
2 日目 5月24日 (月)	9:00	11:00	120	◆講義 認知症の状態にある人の医学的理解 【実践リーダー研修編】	認知症の状態にある方への支援において、実践リーダーに必要な認知症に関する最新の知識の修得や専門性の向上を図り、認知症の病態、薬物療法、対応方法等に関する専門知識を理解する	【千葉県認知症介護指導者】 医療法人社団 ゆうあい会 やりたクリニック／介護老人保健施設ユニー・アイ倶楽部 看護部長 高橋 孝子	永嶋
	11:10	13:10	120	◆講義・演習 「行動・心理症状」への支援技術指導	実践者が適切な支援を行うため、認知症の状態にある人の行動・心理症状を捉える視点やアセスメントならびに支援技術についての指導観点や方法を学習する	【千葉県認知症介護指導者】 社会福祉法人 稔寿会 特別養護老人ホーム 裕和園 副施設長 永嶋 文晴 【ファシリテーター：千葉県認知症介護指導者】 特別養護老人ホームときわ園 生活相談員 月川 健太郎	永嶋
	13:10	14:00	50	【昼食・休憩】			
	14:00	17:00	180	◆講義・演習 職場内教育を計画的に行うための 研修企画書の作成	人材育成の方法のひとつである「職場内における研修」の企画書作成に取り組む事で、研修の企画立案の方法と、講義・演習・指導・発表等を行う際の伝達・表現の技法の基本を理解する	【千葉県認知症介護指導者】 株式会社マウントバード サービス付き高齢者向け住宅なごみの郷 グループホームきくまの家 ホーム長 滝澤 秀児 【ファシリテーター】 特別養護老人ホーム 裕和園 副施設長 永嶋 文晴 特別養護老人ホームときわ園 生活相談員 月川 健太郎	永嶋
3 日目 6月7日 (月)	9:00	10:00	60	◆講義 「法令」から確認する支援専門職の「理念」	社会福祉法「基本的理念」、介護保険法「目的」ならびに介護保険の各事業に示された「基本方針」を確認し、支援専門職に求められる理念を明らかにするとともに、実践における理念の必要性等について理解する	【千葉県認知症介護指導者】 株式会社キューシップ 代表・介護福祉士 梅本 聡	梅本
	10:10	16:10	300	◆講義・演習 「施錠」から考える 権利擁護とリスクマネジメント	① 「権利擁護」を行う上での基本的態度や知識等を確認する		
					② 認知症の状態によって生じる生活へのリスクを低減するための「リスクマネジメント」に関する指導の基本的な視点を理解する		
昼食時間50分／適時				③ とかく教条的(教義をうのみにして判断や行動の指針とすることで、柔軟に具体的な吟味をしない姿勢)に「施錠はおかしい」という議論や実践になりがちである一方、事故防止という美名のもと、個人の自由や意思決定、また人としての暮らしやQOLがなおざりにされ、「施錠が当たり前」という議論や実践になりがちでもある。この現実のもと、ねらい①②を踏まえ、「施錠」をテーマに施錠(=虐待防止・身体拘束)の実態、原因、アセスメントの視点(視点には人員配置等の実際も含む)や方法、解決策の立案を体験的に学習する			

日程	開始	終了	分	単元名	単元のねらい	講師等	研修リーダー (進行)
4 日目 6月21日 (火)	9:00	10:00	60	◆講義 家族支援に必要な 知識、技術と基本的な態度	① 自宅で認知症の状態にある人の「主たる介護者である家族」の支援を実践する上で、同居・遠距離介護双方の視点から主たる介護者の置かれている状況や介護負担の要因を知り、「主たる介護者である家族」への基本的態度や必要な知識、技術を理解する	【千葉市認知症介護指導者】 社会福祉法人千葉勤労者福祉会 グループホームひまわり 施設長 石井 紀明	滝澤
					② 主たる介護者を取り巻く同居家族と他の家族(親族)の理解と、主たる介護者と同居家族・他の家族(親族)に生じやすい様々な問題や課題を知り、同居家族・他の家族(親族)を含めた家族への基本的な態度や必要な知識、技術を理解する		
	10:10	12:10	120	◆講義・演習 家族支援に関する指導方法	前単元での学びをもとに、実践者の家族支援に関する技術を向上させるための指導観点や方法を学習する		滝澤
	12:10	13:00	50	【昼食・休憩】			
	13:00	14:00	60	◆講義 「認知症施策」と 「地域包括ケアシステム」を知る	① 過去から現在までの我が国における認知症施策の変遷を知るとともに、最新の認知症施策(新オレンジプランと地域包括ケアシステム等)に関する国の動向や方向性を理解する	千葉市保健福祉局 地域包括ケア推進課 認知症対策班	滝澤
					② 千葉市における地域包括ケアシステムの取り組みと認知症施策の実際を知る		
	14:10	17:00	170	◆講義・演習 地域資源の活用と地域展開	① 入居型施設における支援に地域資源を活用することが大切であることを理解するとともに、活用方法の実際を学習する	【千葉市認知症介護指導者】 寺崎 一永	滝澤
② 認知症の状態にある方の自宅又は居宅における生活を支えるために、本人ならびに介護者である家族を支えることも念頭に置き、既存の地域資源を支援に活用したり、暮らしを支える地域資源の提案や展開、多職種ならびに団体等との協働を支援専門職が行うことが大切であることを理解し、方法の実際を学習する							
③ ねらい①②を踏まえ、実践リーダーとして国ならびに千葉市の認知症施策や地域包括ケアシステムの展開をスタッフに説明できる事、また実践における地域展開を発想し、実行することの実際を学習する							

日程	開始	終了	分	単元名	単元のねらい	講師等	研修リーダー (進行)	
5 日目	7月5日 (月)	9:00	15:20	330	◆講義・演習 ～何に気づき、感じ、考えていこう?～ 認知症の状態にある人への アセスメントの本質と介護計画の展開 [実践リーダー研修編]	① 私たちは常に「何を見て」「どこを向いて」「どう感じて」「何を根拠に」認知症の状態にある人への支援を実践すべきなのかを理解する	東海大学健康科学部 社会福祉学科 専任講師 渡邊 祐紀 【ファシリテーター：千葉市認知症介護指導者】 サービス付き高齢者向け住宅なごみの郷 グループホームきくまの家 ホーム長 滝澤 秀児	滝澤
						② 人が生活するために使っている力を捉えるために必要な認知症の状態にある人への支援における視点を確認する		
	昼食時間50分/適時					③ 認知症の状態にある人のアセスメントと介護計画の本質とは何かを学ぶとともに、認知症の状態にある人への支援の実践に活用し展開できるよう体験を通じて理解を深める		
	7月5日 (月)	15:30	16:30	60	◆講義 他施設実習オリエンテーション	① 他施設実習の目的・目標及び具体的方法を理解し、各実習施設の受入のルールを知るとともに、受講生(実習生)の倫理観を養う	【千葉市認知症介護指導者】 株式会社マウントバード サービス付き高齢者向け住宅なごみの郷 グループホームきくまの家 ホーム長 滝澤 秀児	滝澤
					② 実習の目的・目標、具体的方法の理解を踏まえて、受講生各自が自らの課題を明確にする			
7月13日(火) 7月14日(水) 7月15日(木)		3日間		他施設実習	他施設での実習を通じて、これまでの講義・演習で学んだことを体験学習として深める	実習施設 ※実習先は当方で決定します		
6 日目	7月19日 (月)	9:00	17:00	420	◆講義・演習 効果的なカンファレンスと 実践で活かすアセスメントと介護計画の作成	① 他施設実習での取り組みをもとに、認知症の状態にある人が有する能力に応じた日常生活を営むためのアセスメントの視点と介護計画作成の展開方法を学ぶとともに、チームにおける意思決定プロセスの共有を実現することを学ぶ	【千葉市認知症介護指導者】 株式会社キューシップ 代表・介護福祉士 梅本 聡 【ファシリテーター：千葉市認知症介護指導者】 ・特別養護老人ホーム裕和園 副施設長 永嶋 丈晴 ・サービス付き高齢者向け住宅なごみの郷 グループホームきくまの家 ホーム長 滝澤 秀児	梅本
						② 実践リーダーとしてケースカンファレンスを生産性のある会議とするためのポイントや展開方法を学ぶとともに、効果的な伝達方法、記録について考える		
		昼食時間50分/適時						

日程	開始	終了	分	単元名	単元のねらい	講師等	研修リーダー (進行)	
7 日目	8月2日 (月)	9:00	15:20	330	◆講義・演習・実技 根拠と理屈に基づく介護技術の実際と 具体的な指導方法	① 全介助の介護技術ではなく、認知症の状態にある人へのよりよい「日常生活支援」ならびに「自立型支援」のために必要な介護技術(食事・排せつ・入浴・移乗・移動)の習得ならびにアセスメントの視点と技術を評価するための考え方や方法を学ぶ。 また、職員への指導の観点と方法を習得する	外部講師 【ファシリテーター：千葉市認知症介護指導者】 株式会社キューシップ 代表・介護福祉士 梅本聡	梅本
						② 座っているとき・寝ているときのポジショニングや筋緊張の減少が、身体拘束防止につながる介護技術であり、リスク(危険)からセーフティー(安全)に導く介護技術であることを学ぶ		
						③ 看取り介護の取り組みにおいて、実践者が基本の介護技術を習得していることが大切であることを確認する		
昼食時間50分/適時				※ 動きやすい服装・履物で参加して下さい	④ 介護技術は日々進歩し、変化していくことを知り、一度習得した介護技術で留まるのではなく、自分自身が有している介護技術を振り返ることが大切であることを理解する			
		15:30	17:00	90	◆講義・演習 モノを活用して支援するためのアセスメントの方法と実際の活用方法	認知症の状態にある方への支援において、実践リーダーに必要な、有する能力を発揮しやすくなる、物理的環境のアセスメントの方法を理解する。	【千葉市認知症介護指導者】 株式会社マウントバード サービス付き高齢者向け住宅なごみの郷 グループホームまきまの家 ホーム長 滝澤 秀児	梅本
8 日目	8月23日 (月)	9:00	10:10	70	◆講義・演習 「自分からみた自分」と「相手からみた自分」を知る	エゴグラムの作成、性格フィードバックの演習を通じ、人材育成を含むチームマネジメント等に取り組む実践リーダーは、先ず自己分析による自己理解が必要であること、「自分からみた自分」と「相手からのみた自分」を知り、他者と自分との違いを認め、その職員の成長度等に合わせた対応が必要であることを理解する	【千葉市認知症介護指導者】 社会福祉法人穩寿会 特別養護老人ホーム裕和園 副施設長 永嶋 文晴 【ファシリテーター：千葉市認知症介護指導者】 特別養護老人ホーム晴山苑 主任ケアワーカー 三和 由紀子	永嶋
						① チームマネジメントにおける人材育成の意義と方法を理解するとともに、職員への指導に有効な技法の種類や特徴を理解し、職場で実践できる指導技術の基本を修得する		
						② 実践リーダーの立場から、職員の意欲の低下を招く原因となる組織内の対人関係やストレスについてどのように向き合い、取り組んでいくことができるかを考えるとともに、チームメンバーのストレスを緩和する方法論や実践方法を学習する		
昼食時間60分/適時								

日程	開始	終了	分	単元名	単元のねらい	講師等	研修リーダー (進行)		
9 日 目	9月6日 (月)	9:00	17:00	420	◆講義・演習 実践リーダーに求められる ブレイングマネジャーの役割	① 自身が従事する介護保険事業の「介護報酬の算定構造等」を調べ、そこから予測される施設または事業所の年間収益から実働の人員配置等を立案するという体験的な学習を通じ、これからの実践リーダーはプレイヤー(介護従事者)としての仕事と管理職(マネジャー)としてのマネジメント業務の双方を担う「ブレイングマネジャー」として役割が求められることを理解する ② 理想を実現する・課題を解決するには、実践リーダーが実践・運営等を包括した職場全体の仕事であり組織を設計することが重要であることを理解・習得する	【千葉県認知症介護指導者】 株式会社キューシップ 代表・介護福祉士 梅本 聡 【ファシリテーター：千葉県認知症介護指導者】 ・特別養護老人ホーム裕和園 副施設長 永嶋 丈晴 ・サービス付き高齢者向け住宅なごみの郷 グループホームさくまの家 ホーム長 滝澤 秀児 (※受講者数によってはファシリテーター増員の予定)	梅本	
		昼食時間60分/適時							
10 日 目	9月13日 (月)	9:00	17:00	420	◆演習 自施設実習課題設定	① 本研修の目標と目指すべき人物像に基づき、これまでの研修での学びの成果を実践で活用できる知識・技術・意識(介護観)にするための自己課題を設定をする ② 自施設実習で取り組む課題について、その手順、使用する資料や機材など、より具体的な企画書を作成することで、取り組む課題が実行可能なものとする	【千葉県認知症介護指導者】 株式会社マウントバード サービス付き高齢者向け住宅なごみの郷 グループホームさくまの家 ホーム長 滝澤 秀児 社会福祉法人穩寿会 特別養護老人ホーム裕和園 副施設長 永嶋 丈晴 医療法人社団澄乃会 統括マネージャー 向日葵ケアプラン 管理者 日向 雅史	滝澤	
		昼食時間60分/適時							
9月14日(火) ～ 10月11日(月)		4週間		自施設実習	① 職場での4週間の実習を通じて、自己の設定した課題の達成を目指し、その成果を得る ② 課題として提示されたアセスメントに取り組み、認知症の状態にある人が有する能力に応じた日常生活を営むためのアセスメントの視点を習得する	【課題提出期限】			
11 日 目	10月20日 (水)	9:00	16:00	360	◆発表・質疑応答 自施設実習の成果報告とまとめ	① 自施設実習で得られた成果(課題含む)を客観的・論理的に考察し、分かりやすく発表(報告)する ② 他受講生の発表(報告)ならびに受講生同士の討議を通じて得られた成果(課題含む)の活用について理解を深める ③ 研修全課程を修了する今、「研修の目標」ならびに「目指すべき人物像」を改めて確認し、自分自身の実践リーダーとしての課題やさらに向上させたい力を明確にする	【千葉県認知症介護指導者】 株式会社マウントバード サービス付き高齢者向け住宅なごみの郷 グループホームさくまの家 ホーム長 滝澤 秀児 社会福祉法人穩寿会 特別養護老人ホーム裕和園 副施設長 永嶋 丈晴 医療法人社団澄乃会 統括マネージャー 向日葵ケアプラン 管理者 日向 雅史	滝澤	
		昼食時間60分/適時							
		16:10	16:30	20					◆講義 「認知症介護実践者等養成事業」と 「認知症介護指導者養成研修」を理解する
		16:30	16:45	15	レビュー用紙の記入				
		16:45	17:00	15	修了式(修了証書交付)			研修実施機関	